

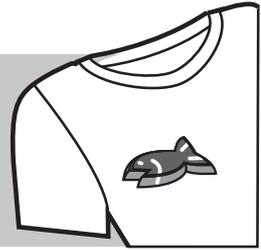
# 熱転写発泡シート「発泡サンラバー」

## セット内容

転写シート (200mm×270mm)	—	2枚
シリコンシートA4	—	1枚
普通紙	—	1枚
説明書 (テンプレート付)		

簡単にアイロンでプリントできる!

素材が濃色でも鮮やかに仕上がります。  
ストレッチタイプの素材にも対応できます。  
適応素材は綿、綿ポリエステル、ナイロン!!



## ■つがい方

※シートは光沢がある方が表です。

発泡サンラバーの転写/発泡はアイロンの温度・圧力が重要です。きれいな発泡プリントを得るには使い方及び裏面を良く読んでからはじめてください。

**ご注意** この転写紙で製作したTシャツなどは、個人の楽しみ用（ホビー用）としてお使いください。

### Step1 発泡シートのカット

カットしたい文字・絵柄をカッターナイフ等でカットします。

カット方法は、裏面より発泡シートのみ鏡面カット(逆さ切り)します。文字や絵柄がぼらぼらになっても良い場合は、はさみを使ってフィルムごと切り落としてもかまいません。



- 一度に転写・発泡できる絵柄の大きさは、お使いのアイロンの平らな部分の大きさまでです。スチーム穴は避けてください。

### Step2 トリミング

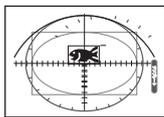
必要な大きさにハサミでカットします。回りのいらぬ箇所は、裏面より端からはがし、文字だけをフィルムに残します。



- いらぬところのシートを取りはずすときは、端からピンセットなどでめくると簡単です。

### Step3 レアウト

切り取った文字を透明フィルムを上側にしてアイロン台の上に置いた布の上に並べます。(文字がきちんと読めるように置きます。)



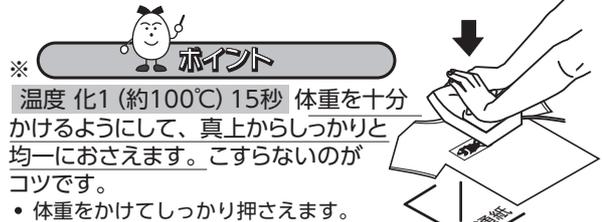
テンプレートを利用するとレイアウト配置に便利です。



- ※ タオルを2つ折りにしたものを3枚程度重ね、表面を平にし、その上に付属の普通紙をのせたものをアイロン台としてください。

### Step4 アイロンプレス

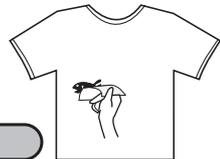
透明フィルム側（文字が正しく読める向き）からアイロンでプレスします。



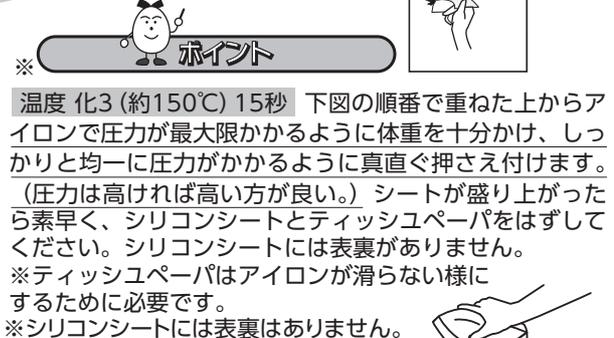
- ※ **ポイント**  
温度 化1 (約100°C) 15秒 体重を十分かけるようにして、真上からしっかりと均一におさえます。こすらないのがコツです。  
・ 体重をかけてしっかり押さえます。

### Step5 フィルムをはがす

完全に冷めてからフィルムをはがします。フィルムがきれいにはがれないときは再度その部分をアイロンでプレスします。



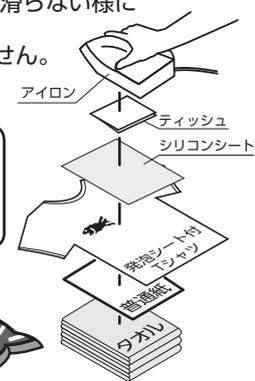
### Step6 発泡シートの発泡



- ※ **ポイント**  
温度 化3 (約150°C) 15秒 下図の順番で重ねた上からアイロンで圧力が最大限かかるように体重を十分かけ、しっかりと均一に圧力がかかるように真直ぐ押さえ付けます。(圧力は高めれば高い方が良い。) シートが盛り上がった素早く、シリコンシートとティッシュペーパーをはずしてください。シリコンシートには表裏がありません。※ティッシュペーパーはアイロンが滑らない様にするために必要です。※シリコンシートには表裏はありません。



**重要**  
・ 体重をかけてアイロンをしっかりと押さえます。押さえている間は、絶対にアイロンを動かさないでください。



**完成**



## ■用途■

Tシャツなどの綿および綿ポリ素材。ただし、防水加工のものは避けてください。  
この転写紙で製作したTシャツなどは、個人の楽しみ用（ホビー用）としてお使いください。

## ■アイロン温度目安表■

設定	温度 (°C)	対応繊維
化1	80~110	ビニリデン、ポリプロピレン、アクリル系
化2	120~145	アクリル、ポリウレタン、パーマネントプレス
化3	135~165	ナイロン、レーヨン、ポリノジック、アセテート、絹、トリアセテート、ポリエステル、ピニロン、キュプラ
毛	155~185	毛
綿	170~205	綿
麻	180~220	麻

注意：上記の設定と温度はあくまでも目安でお使いになるアイロンによる温度は多少異なりますのでテストしてから本番をしてください。

## ⚠️ 安全に関するご注意



- アイロンを使用しますので、やけど火災にご注意ください。特にお子様だけによる取り扱いはおやめください。
- ご使用前に本製品とご使用になるアイロンの取扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。



## ■使用上のご注意■

### 発泡シートの取扱い

- 発泡シートは保管状態が悪いとききれいに転写プリントができない場合がありますので、高温多湿な場所、直射日光を避けて、曲がらないよう保管してください。
- 発泡シートは、折り曲げないでください。
- 発泡シートの表裏を間違えないようにしてください。鏡像カットする必要があります。

### 転写/発泡する布の注意

- Tシャツなどの綿・綿ポリ混紡・ポリエステル 100%・ナイロン 100%素材にプリントできますが、撥水加工生地にはプリントできません。
- 細かな絵柄は、生地が発泡によって盛り上がりにくいので発泡が弱く感じる場合があります。
- ウエアーの生地が厚いものや硬いものは生地が発泡により盛り上がりにくいので発泡が弱く感じる場合があります。
- 完成した発泡絵柄は転写シートの色と多少異なります。

### アイロンプレス時の注意

- アイロン台は使わず、熱に強く、硬く、ぐらつきのない安定した机の上に、タオルを2つ折にしたものを3枚程度重ね、表面を平らにし、その上に付属の普通紙をのせたものをアイロン台としてください。
- アイロンはこすらないでください。
- アイロンで押さえる時、スチームは出さないでください。また、スチームの穴は、避けてプレスしてください。
- 転写温度が高かったり、転写時間が長かったりすると、仮接着の段階で発泡層の発泡が起こってしまい、フィルムが剥がれにくくなったり、発泡の段階で発泡が起こりにくくなる場合があります。また、表面に気泡ができたり、表面が溶けたような仕上がりになることがあります。（発泡が起こるとシートの色が少し変わります。）
- 転写する絵柄の下は縫い目、折り目、段などが無い平らな部分に転写してください。アイロンが縫い目、折り目、段のある位置にかかると、均一に圧力がかからず発泡が綺麗に仕上がりません。
- 家庭用アイロンでスチーム穴がある場合、その部分は圧力がかからないため、転写 / 発泡時にムラが発生します。穴のない平らな部分をご利用ください。
- コードレスアイロンは使用中、温度が低下しますので、こまめに充電してください。
- 布地に転写・発泡されたものは、はがすことができませんのでテストしてから本番をしてください。また失敗の責任は負いかねますのでご了承ください。



## ■転写した布地を洗濯するときのご注意■

- ドライクリーニングは色落ちの原因になりますのでしないでください。
- 漂白剤に長時間浸しておくと、転写部分に変色することがあります。
- 洗濯機で洗う場合は、ネットに入れることをお勧めします。
- 洗濯は、水洗いにしてください。30℃以上の温水での洗濯はお避けください。
- 乾燥機のご使用はお避けください。
- シートの特性上、繰り返し洗濯することでシワ、ひび割れ等が起こります。
- 発泡プリント面にアイロンをかける場合は、必ずシリコンシートを転写プリント部分にあて低温（100℃以下）の温度でかけるか、発泡させた時の要領で加圧/加熱することをお勧めします。そのままではアイロンをかけられません。（シリコンシートは2~3回使えます。シリコンシートに表裏はありません。）

★転写/発泡時はアイロンを真上から体重をかけてしっかりと両手でおさえ、絶対アイロンを動かさないでください。アイロンによる加熱、加圧によって発泡成形が行われますのでアイロンが動いてしまうと加圧が均一にかからない（一瞬加圧のかからない場所ができる）ために表面が凹凸になり失敗してしまいます。また、アイロンの温度は機種によって若干異なりますので、本番前には小さい絵柄で失敗しても良い布地を使って必ずテストしてください。

# Horizon

ホリゾン・インターナショナル株式会社

H&F事業部 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-6-4 TEL. 0422-48-5119(代) FAX. 0422-48-5009 www.horizon.co.jp

# テンプレート

シタリングのレイアウトに  
ご利用下さい。

